

茶新品種

はると34(春翔34)の特性

1 「はると34」のセールスポイント

- (1) 一番茶の萌芽期は「さえみどり、ゆたかみどり」より早く、「やぶきた」より9日程度、摘採期も「やぶきた」より7日程度早い極早生種です。
- (2) アミノ酸の含有率が高く、煎茶として鮮緑色で色沢が優れ、香気や滋味も「やぶきた、さえみどり」より良質です。釜炒り茶しても優れます。
- (3) 短期の被覆処理(遮光率80%、5日程度)により、外観内質ともに品質が向上します。

2 育成経過

- (1) 育成地 宮崎県総合農業試験場 茶業支場
(~2010年 茶育種指定試験事業、2011~2013年 農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業)
- (2) 交配 1997年(H9)
- (3) 登録 2016年12月品種登録出願公表
- (4) 交配組合せ

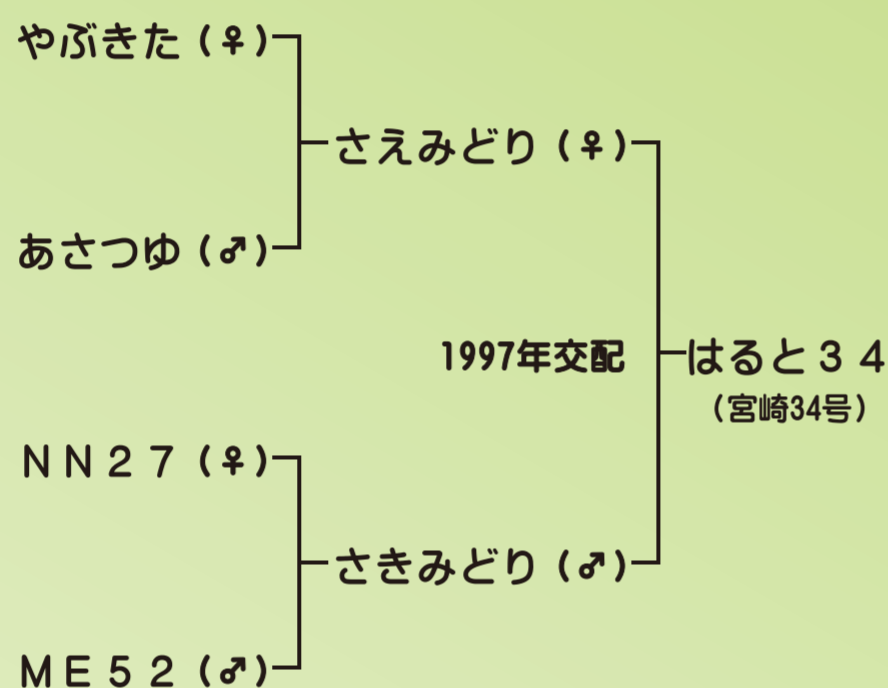


写真:「はると34」の一番茶新芽

3 「はると34」の特徴

(1) 形態的特性

- ① 樹姿: 中間
- ② 株張り: やや大
- ③ 葉の形: 長だ円
- ④ 葉の大きさ: やや大
- ⑤ 葉厚: やや薄い
- ⑥ 葉の色: 新葉 緑
成葉 緑

(2) 生態的特性

- ① 樹勢: 強
- ② 挿し木発根性: 良
- ③ 一番茶萌芽期: やぶきた比 -9日程度
摘採期: やぶきた比 -7日程度

(3) 収量特性

一、二番茶ともに「やぶきた」並

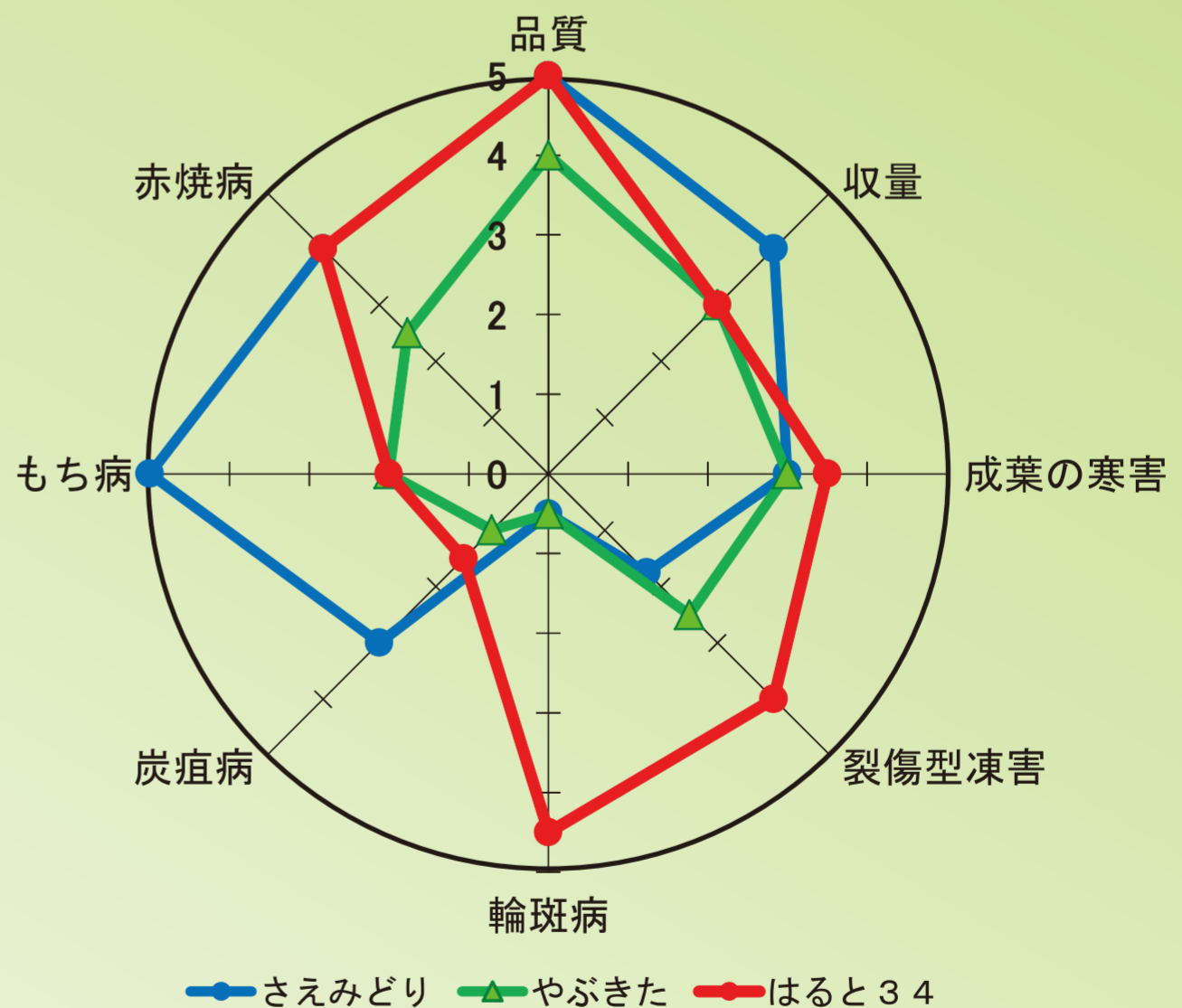


図:「はると34」の特性(良・強=5~1=弱・劣)

4 栽培・加工上の注意点

- (1) 「はると34」は防霜施設が整っていれば、全国の茶産地で栽培が可能ですが、条件の良い暖かい場所で栽培した方が極早生の特徴が活かれます。
- (2) 輪斑病や赤焼病には強いですが、炭疽病、もち病の常発地帯では多発する可能性があるため防除が必要です。